

令和2年度当初予算 熊谷市「暑さ対策」事業一覧

No.	新・継	事業名	R2 予算額	事業内容	担当課
1	新規	「暑さ対策」 熊谷夏のおもてなし事業	250	熱中症が多く発生する夏の時期に、熱中症予防カードと塩飴を組み合わせた「おもてなしセット」を配布し、熱中症予防の啓発を行う。	政策調査課
2		「暑さ対策」 暑さ対策マスター検定事業	97	市のホームページにおいて、熱中症予防に関する情報をクイズで出題し、正解者を暑さ対策マスターとして認定する。	広報広聴課
3		「暑さ対策」 PR車両整備事業	3,160	暑さ対策をPRするデザインの公用車を導入し、イベント等で活用することにより、暑さ対策の啓発を行うとともに、タープテントによる簡易的な休息所を設置し、熱中症予防を行う。	庶務課
4		「暑さ対策」 熱中症に備えるガイドブック発行事業	2,500	市民一人一人が熱中症に対する知識を持ち、熱中症に対する事前の備えができるよう、熱中症の知識、予防法、応急処置等を記載した熱中症ガイドブックを発行し、配布する。	健康づくり課
5		「暑さ対策」 外付け日よけアシスト事業	2,000	夏の室温上昇を抑制し、熱中症の予防を図るため、住居に外付けのサンシェードやブラインドを設置する市民に対し、購入費用の一部を補助する。	環境政策課
6		「暑さ対策」 遊具で遊べるんるん事業	525	公園で遊ぶ子供の安全を図るため、公園の遊具を「熱交換塗料」で塗り替え、遊具が高温になるのを防ぐ。令和2年度は、実証実験として、新堀第4公園で実施し、アンケート調査を行う。	公園緑地課
7	継続	「暑さ対策」 クックパッド・熊谷のページ事業	16	食事からの暑さ対策を目的に、料理レシピサイト「クックパッド」に開設している本市公式キッチンに、熱中症や夏バテ予防のレシピを掲載するとともに、本市の暑さ対策や特産品、イベント等をPRする。	政策調査課
8	継続	「暑さ対策」 涼くまグランプリ事業	310	小・中学校の優れた暑さ対策の取組を表彰する「涼くまグランプリ」を開催し、暑さ対策の取組の裾野を拡大する。	
9	継続	「暑さ対策」 熱中症予防グッズ配布事業	3,200	熱中症にかかりやすい年齢層である小学生(R2年度入学者)や高齢者(75歳)に対しクールスカーフを配布する。	
10	継続	クールシェア推進事業	820	夏場、涼しい場所に集まることで、消費電力の減少とともに、節電と人とのつながり、コミュニティやまちの活性化を図ることを目的に、クールシェアくまがや実行委員会に対し、クールシェアスポットを紹介するマップの作成や、クールシェアイベント等の経費を負担する。	
11	継続	「暑さ対策」 涼しさ体感アート事業	1,129	涼しさを感じさせるデザインを広く募集し、熊谷駅正面口・南口階段及び籠原駅の階段をデザインシールで装飾する。	企画課
12	継続	「暑さ対策」 えんむすび日傘事業	720	妻沼聖天山周辺の商店街等に、誰でも自由に使える日傘(和傘)を置き、熱中症の予防を図るとともに、観光客のまちなかの移動を快適にすることで熱中症予防に役立ててもらい、「おもてなしの熊谷」をPRする。	スポーツ観光課
13	継続	「暑さ対策」 熱中症対策キーパー事業	252	ボランティアによる熱中症対策キーパーが、市内のイベント等において噴霧器でミストを散布しながら熱中症予防を呼びかける。	

No.	新・継	事業名	R2 予算額	事業内容	担当課
14	継続	「暑さ対策」 熱中症予防事業	4,924	小学校に設置した熱中症・かぜ予防指標解析表示計の観測データを基にした熱中症の注意喚起、公共施設内で水分補給等ができる休息所の開設、スーパーマーケット等での熱中症予防の声掛け等を行う。	健康づくり課
15	継続	「暑さ対策」 トイレの中から暑さ対策事業	1,100	トイレの中からの暑さ対策を目的に、熱中症を注意喚起するトイレトペーパーや尿の色で脱水症状の危険度を判定するポスターなどを作成し、市有施設、駅、商業施設のほか、中学校や老人福祉施設などのトイレで熱中症予防を啓発する。	
16	継続	「暑さ対策」 ちびっこ元気事業	3,080	熱中症予防のため、3歳児を対象に、冷却機能を備えた熊谷市オリジナルの垂れ付き帽子を配布する。	こども課
17	継続	「暑さ対策」 駅前広場冷却ミスト事業	2,105	熊谷駅正面口・南口・東口及び籠原駅北口・南口に設置した冷却ミスト装置により、暑い熊谷の夏に快適な涼しさを提供する。	環境政策課
18	継続	「暑さ対策」 壁面緑化推進事業	300	CO2削減のため、江南庁舎、妻沼庁舎、公民館等での壁面緑化を実施するほか、壁面緑化を実施した市民・事業者者に補助する。	
19	継続	「暑さ対策」 小学校委員会活動支援事業	2,900	児童が主体的に暑さ対策の充実や熱中症予防の知識を学ぶため、市内小学校における児童委員会活動に対し支援する。	
20	継続	「暑さ対策」 地域へ発信！ 中学生サポーター事業	940	中学生生活3年間で全生徒を「暑さ対策サポーター」に養成する。1年生は暑さ対策セミナーの受講、2年生はAED講習、3年生は防災無線や地域での呼びかけなどによる情報発信を行うことで、地域へ熱中症予防の啓発を行う。	学校教育課
21	継続	「暑さ対策」 中学生熱中症対策事業	1,600	生徒が主体的に中学校における暑さ対策や熱中症対策を行うため、生徒委員会活動に対し支援する。	
22	継続	「暑さ対策」 めざせ！暑さ対策研究 日本一支援事業	-	本市の暑さに関するデータ等を立正大学に提供するとともに、研究場所の提供等の支援を行うことで、本市の暑さの傾向や熱中症搬送者の特徴を明らかにし、今後の暑さ対策事業の推進に活用する。	政策調査課
合計			31,928		